

# 焼津市教育 I C T利活用推進計画について

G I G Aスクール推進室【きどう】

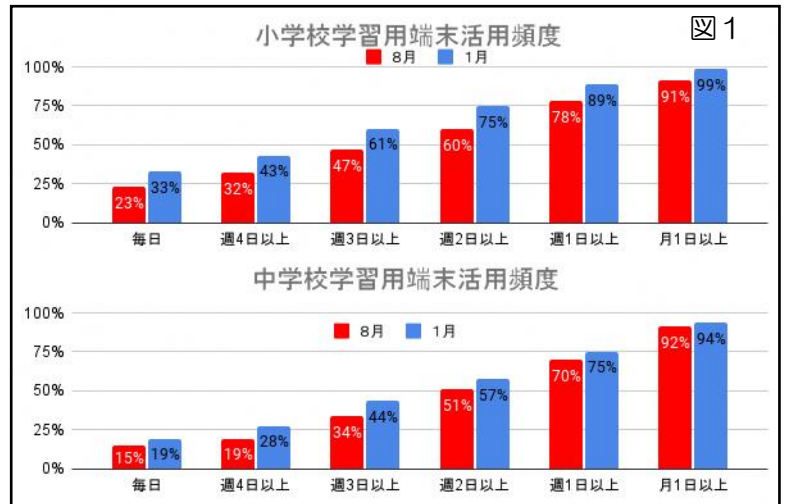
## 1 8月と1月の全教職員を対象としたアンケート結果…成果と課題

### (1) 成果

#### ① 学習者用端末の活用状況(図1)

学習者用端末 (Chromebook) の活用については、カメラでの動画・写真の撮影や、インターネット検索、アプリの活用等が考えられる。

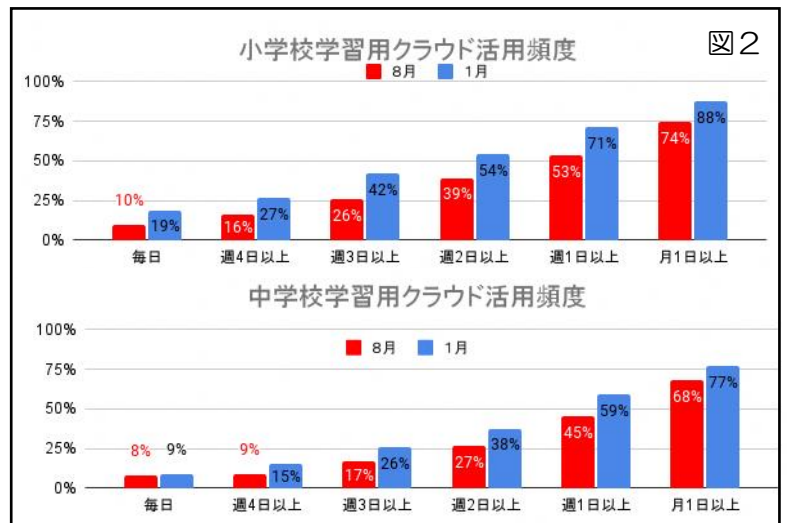
「毎日」と答えた教員が小学校で10%、中学校で4%増加し、「週に1回以上」活用した教員も小学校で89%、中学校で75%に達している。授業の中に、端末の活用が浸透してきていることが分かる。



#### ② 学習系クラウドの活用状況(図2)

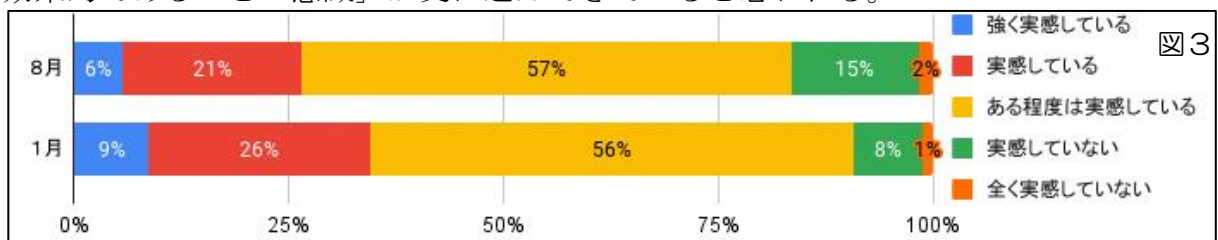
学習系クラウドの活用とは、Chromebook を活用して子供同士が交流して学習する協働学習や課題の出題及び提出、小テスト等がこれにあたる。

「毎日」と答えた教員が特に小学校で2倍弱増え、「週1回以上」と答えた教員も小学校で71%、中学校で59%に達し、クラウドを活用した協働学習等についても活用が進んでいる。



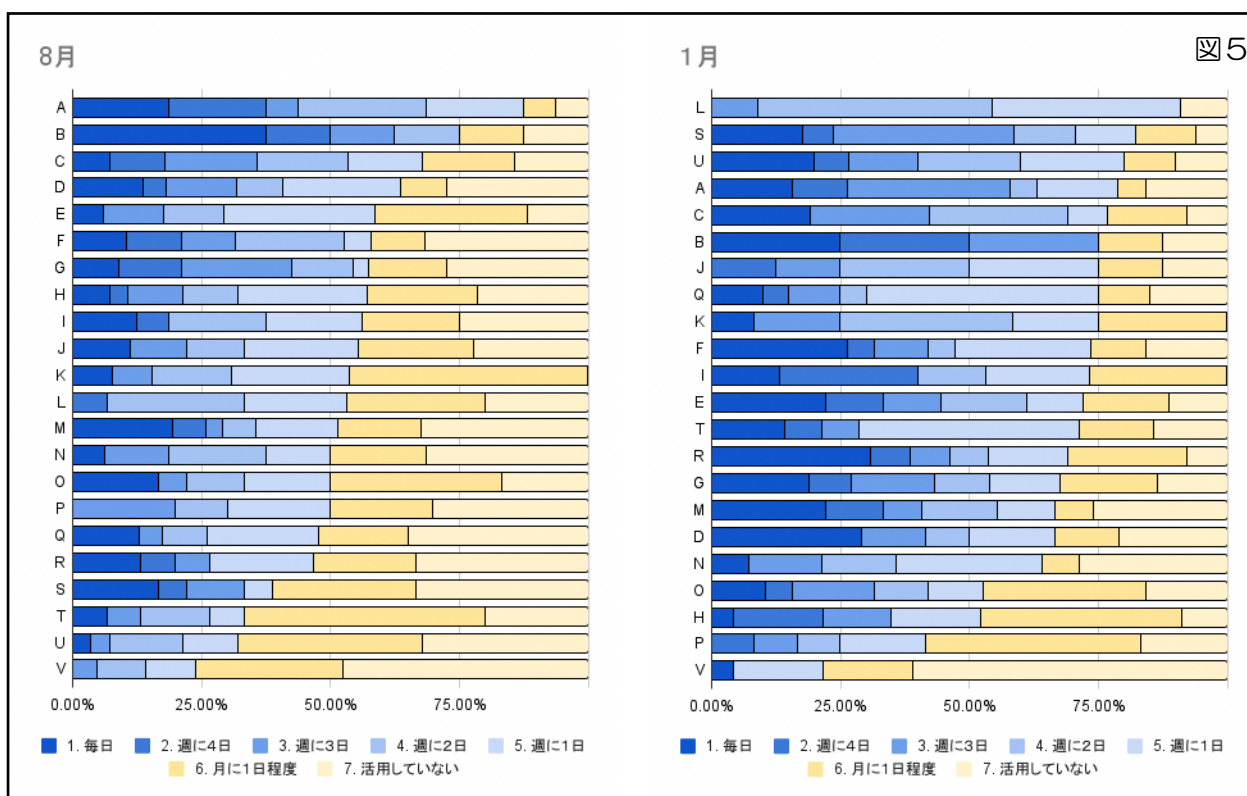
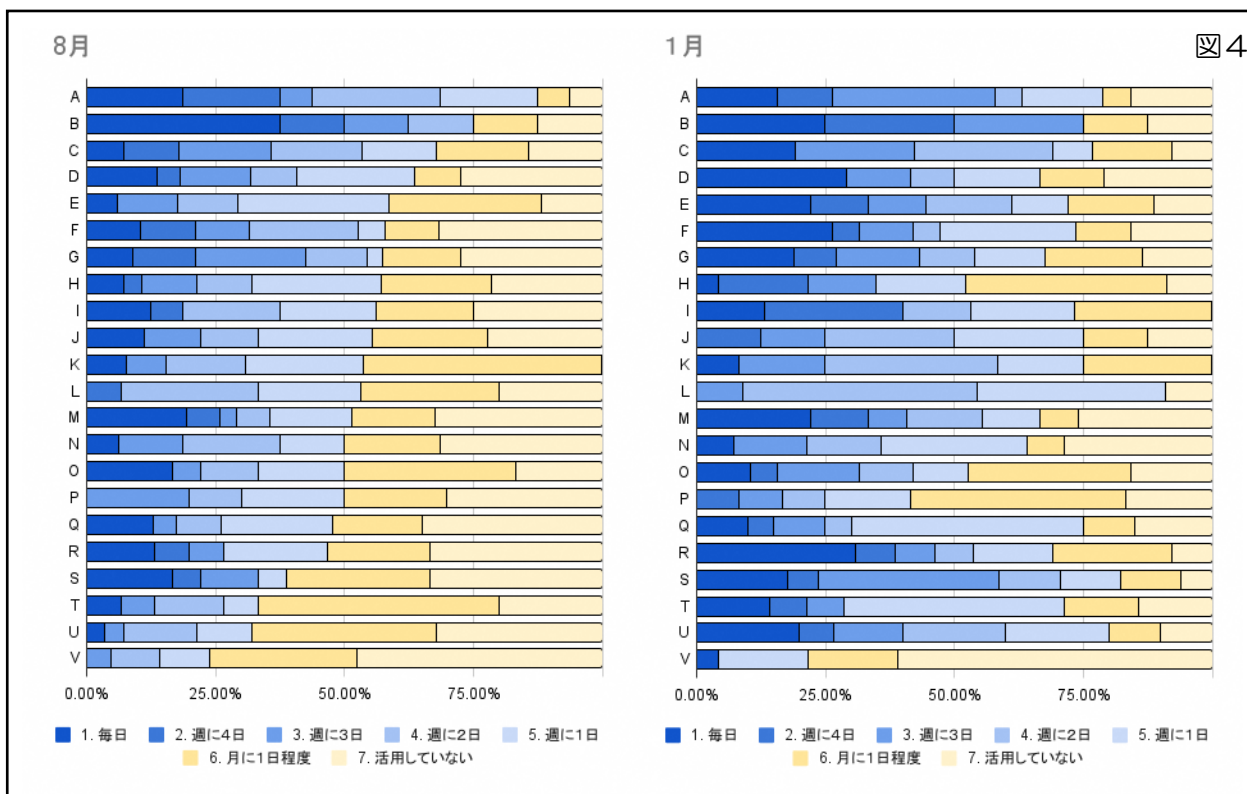
#### ③ 端末の活用は子供の資質・能力の向上に効果を発揮しているか(図3)

肯定的な回答が90%を越え、活用が進むことで、「子供の資質・能力の向上に端末活用が効果的であることの意識」が更に進んできていると思われる。



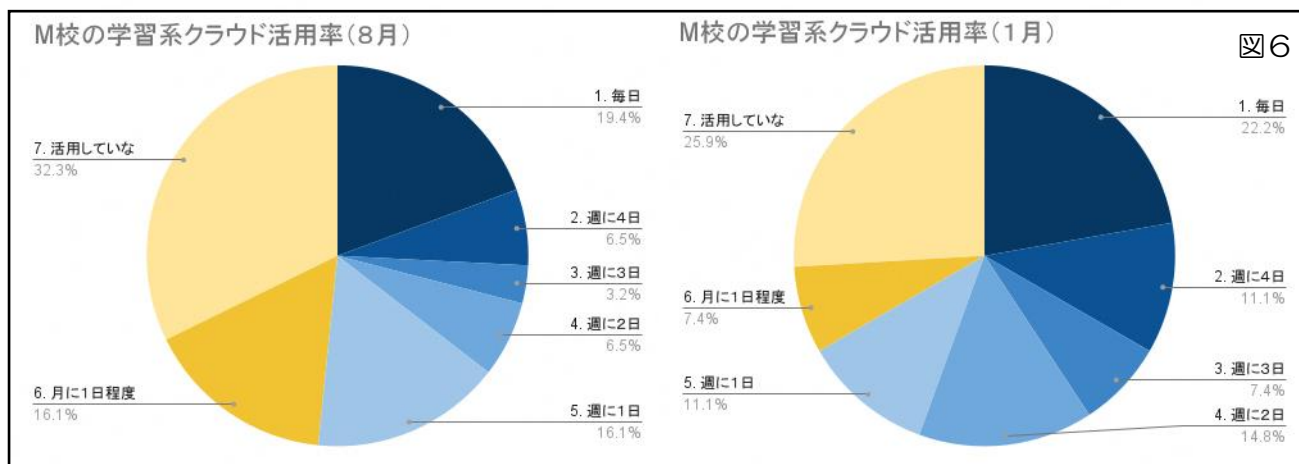
#### ④ 学校別学習系クラウドの利活用状況の変化（図4、図5）

- ・後期に支援重点校として支援した7校のうち、5校（QRSTU）に関しては、大幅な利活用率の向上が見られ、取組の効果が実証できた。
- ・全般的に、8月に活用が少なかった学校において、大幅な活用率の向上が見られることから、学校間格差の縮まりが見られる。



## ⑤ 校内の教員間の差の減少（図6）

下のグラフは、第2回総合教育会議で示した、教員間の差が大きかったM校の学習系クラウド活用率である。1月のグラフでは、「活用していない」「月に1日程度」（黄色）が減少し、週に1日以上使う教員の割合（青色）が増加しており、教員間の差が減少していることが分かる。



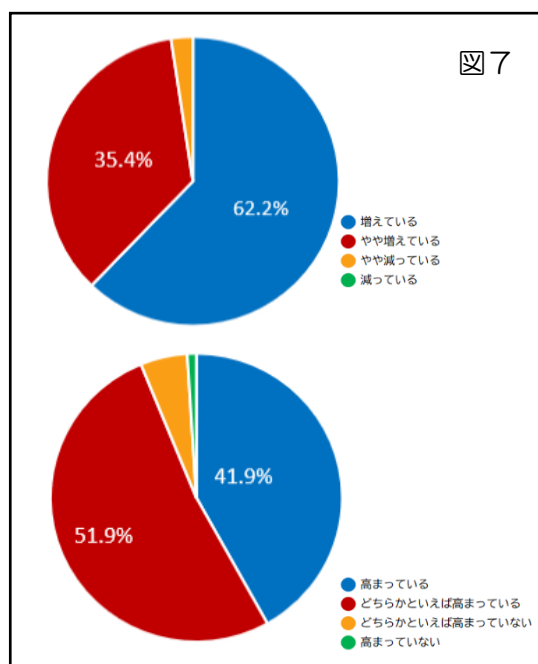
## ⑥ 教員の目標についての達成度に向けて（図7）

前年度に比べて、学習者用端末を活用する授業が増えていると感じる

端末を活用した授業が増していることについては、97.6%の教員が肯定的な回答をしている。学校現場において、明らかに前年度のよりも活用が進んでいる状況がうかがえる。

校内研修や職員室での会話で、教員のICT活用に関する積極的な様子が伺える等、ICTに係る意欲が高まっている

肯定的な意見が93.8%と、非常に高い結果であった。授業での活用が進んできた分、教員のICTに関する情報交換等、意欲の高まりが見られる。

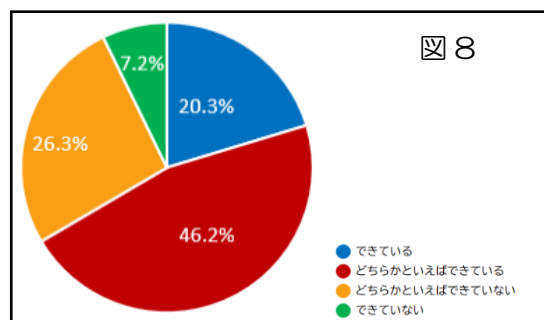


## (2) 課題

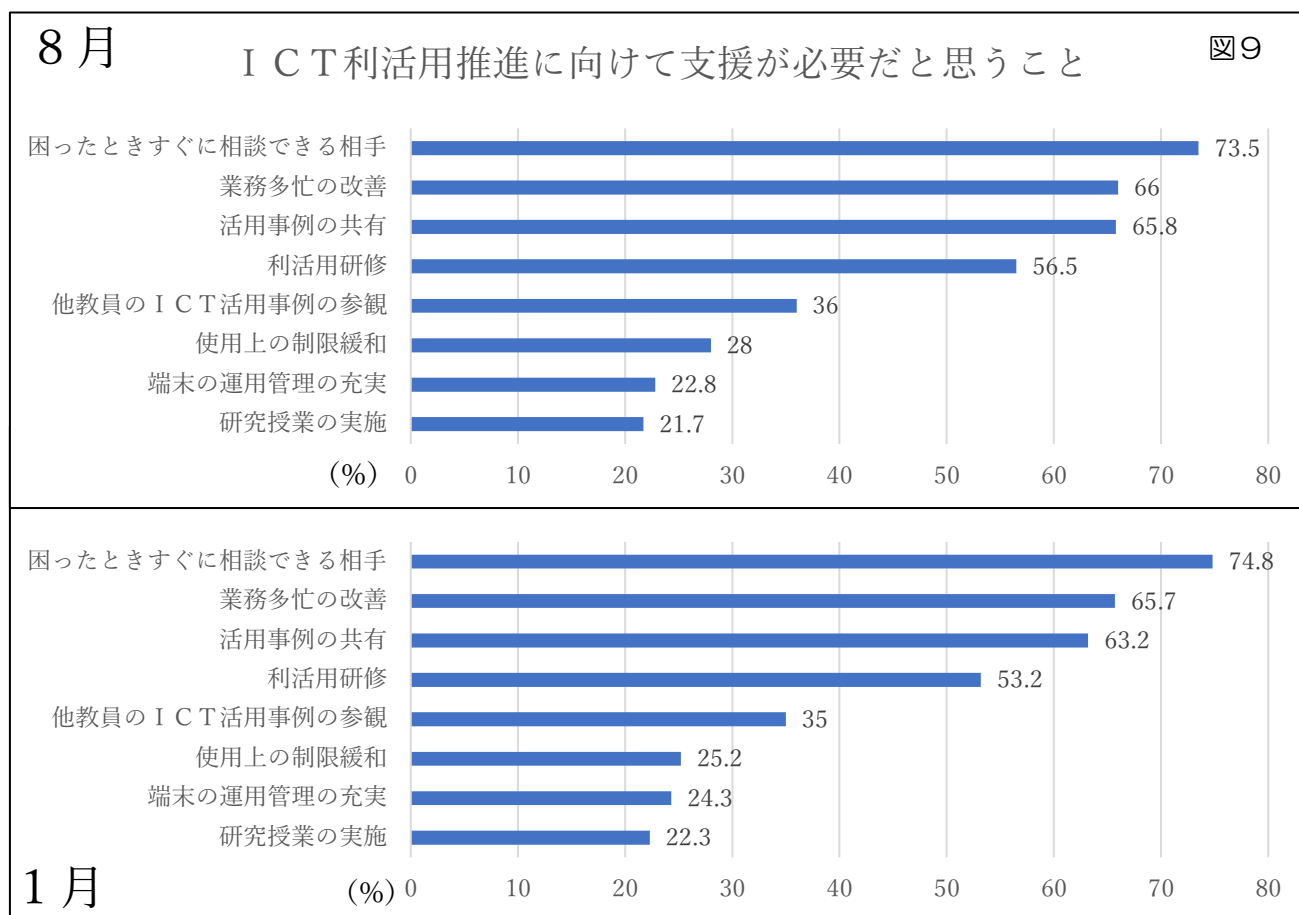
### ① 教員の目標についての達成度に向けて（図8）

授業でICTを活用するための基礎的な知識・技能を概ね身に付けることができた

「できている、どちらかといえばできている」と答えた割合が66.5%であった。みらい講座等で研修を行ってきたが、まだ充分でないと考えている教員が多いため、更なる取組について検討する必要がある。



## ② ICT利活用推進に向けて支援が必要だと思うことについて（図9）



- ・ 8月と1月のグラフを比較した際に、「必要だと思う」項目に大きな変化はなかった。つまり、GIGAスクール推進室では、8月のアンケート結果を踏まえて様々な取組をしてきたが、短期間であったこともあり、問題の改善や解決までには至らなかったことを示している。今後も継続して、教職員が必要と考えることがらについて、改善を実感できるような取組を行っていききたい。
- ・ 調査結果から、教員は「困ったときにすぐ相談できる相手」の存在が、最も必要としていることが分かる。校内の組織体制の整備を改めてお願いしていくとともに、GIGAスクール推進室に対して相談しやすい意識や仕組みを構築していききたい。
- ・ 業務多忙の改善に関しては、校務のDX化を推進することで、より効率的になるような業務改善を進めていく必要がある。また、学校の業務全体についても、改めて見直し、働き方改革を進める必要がある。

## ③ 「活用が停滞している学校」「活用していない教員」について

- ・ 本年度取組について改善しながら実施し、市全体として活用率の向上がみられたが、その中でも「活用が停滞している学校」が存在する。
- ・ 活用の進んでいる学校にも、一定数の「活用していない教員」が存在する。
- ・ 「活用していない教員」の理由については、「操作方法の理解不足」と「ICTの活用効果に疑問がある」の2つに大きく分けられる。

## 2 ICT利活用推進計画（2.0版）の概要について

### (1) 目標設定（図10）

最終目標は、子供たちが発達段階(学年等)に応じた情報活用能力を身に付けることである。そのため、本推進計画では、例えば「小学校4年生で、1分以内に30文字をローマ字入力できる」等の発達段階に応じた児童生徒の情報活用能力の習得目標を設定している。また、Chromebook活用スキルチェック表で、カメラの活用について「レベル1…写真や動画を撮って観ることができる」「レベル5, 6…情報モラルを意識しながら、必要に応じて写真や画像を活用することができる」等と設定している。

加えて、ICT端末活用頻度に係る指標を設定している。可能な範囲でこれらの目標について調査・分析することで、今後の目標のエビデンスとする。

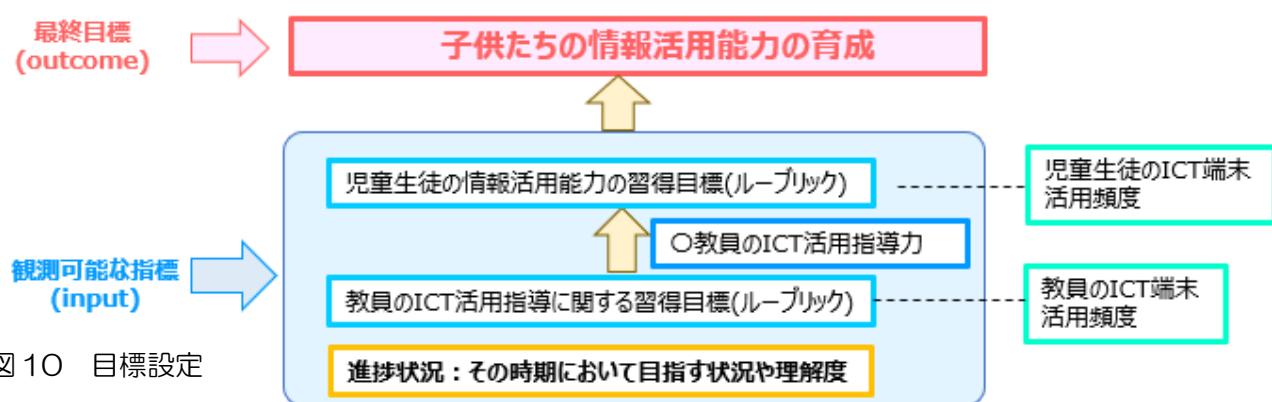


図10 目標設定

### (2) 目標達成に向けた具体的な取組の改善（表11）

全教職員を対象としたアンケート結果やICT利活用推進計画協議会委員、利活用リーダーの意見をもとに、令和4年度を振り返り、本推進計画を見直し、改善を加えた。

表11 取組策一覧

施策	取組目標	No.	取組内容	実施者
必要性の理解 (取組①)	教員がICTの必要性を理解、納得し、活用に前向きな姿勢を持つ	F1	ICT利活用の意義を校内に浸透	校長・教頭
	ICTの有効性や利便性を実感する機会を創出する	F2	校内研修等でICT活用の有効性や利便性の紹介など	利活用リーダー
ステップアップ (取組②)	教員の基礎的なICT利活用スキルやICT活用指導力、セキュリティに関するリテラシーの向上	S1	校内利活用推進体制の確立	校長
		S2	年度当初訪問研修 (セキュリティ、利活用目標、持ち帰り)	市教委
		S8	みらい講座の実施 (初級だけでなく、中上級者向けも開催)	市教委 利活用リーダー
		S9	新規、転入職員向けGWS研修会	市教委
	ICT活用機会の創出	S3	定期訪問 (優良実践については市内へ情報共有)	市教委
	利活用リーダーのスキルアップ	S4	利活用リーダー研修会 オンライン連絡会の実施	市教委

	実践事例やアプリで作成した資料を共有し、活用頻度を向上させる	S5	情報共有サイト(教材図鑑)	教員相互 市教委
	困りごとや悩みへの相談体制	S6	オンライン GIGA 相談室 利活用リーダーChat	市教委 利活用リーダー
	校務処理における積極的な活用	S7	保護者との連絡や校内での職員の連絡等での活用の推進	教頭・各リーダー
目標設定 (取組③)	目標確認、進捗管理	N1	目標の設定、常時進捗確認	各教員
	目標設定、進捗管理	N2	活用進捗モニタリング	市教委
その他	教員の活用意識を維持した管理	K1	校内における機器管理	機器管理リーダー
	機器管理リーダーのスキルアップ	K3	機器管理リーダー研修会 (アカウントの設定方法、デジタル教科書等)	市教委
	充実した環境整備	K2	ICT 環境整備、運用管理	市教委

### (3) 焼津市教育 ICT 推進ロードマップの作成 (図 12)

2026 年度までを見据えたロードマップを作成し、国の方針や市の方針、ICT 活用の展望等を可視化することで、教員が ICT 利活用についての見通しを持てるようにした。

図 12 焼津市教育 ICT 推進ロードマップ (案)

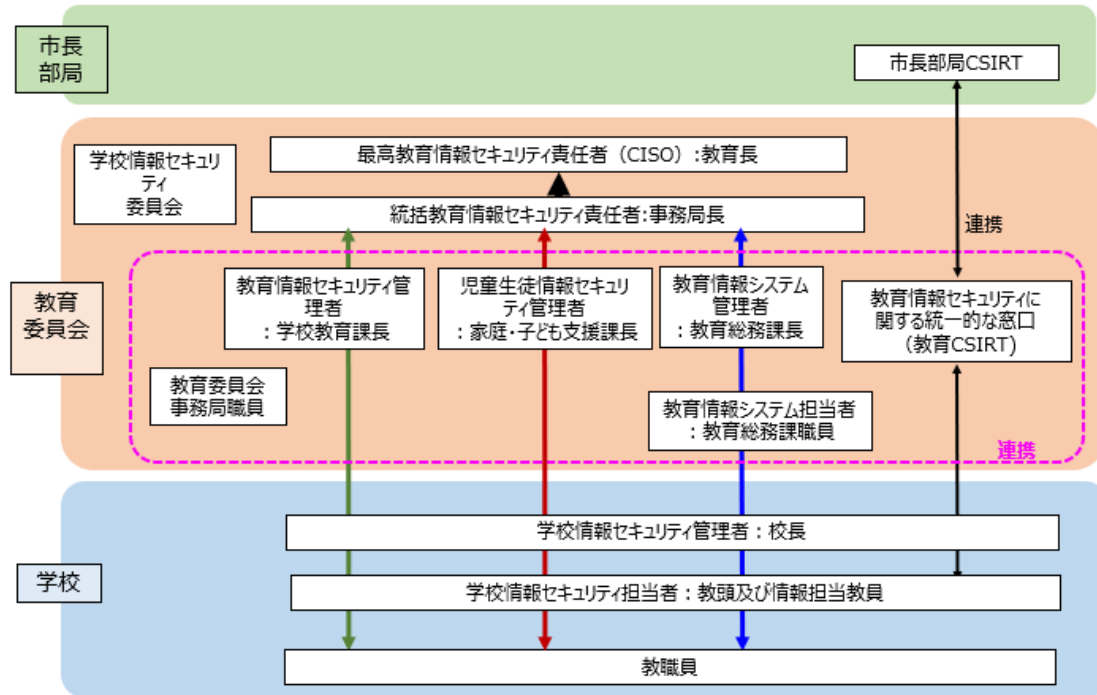
	2022年度前期	2022年度後期	2023年度前期	2023年度後期	2024年度	2025年度	2026年度
国の方針	MEXCBIT全国展開 (CBTコンテンツ) 高校に「情報科」新設		全国学力テスト中学英語「話すこと」についてオンライン調査導入 児童質問紙一部学校でオンライン調査		学習者用デジタル教科書導入 全国学力テストCBT全面導入	公教育データ・プラットフォームの正式運用開始 大学入試共通テストに「情報」	
市の方針	ICT活用定着強化期		ICT活用定着期		ICT活用発展期		
	ICT利活用推進計画(1.2) MEXCBIT利用開始		ICT利活用推進計画(2.0)	家庭との併用浸透期			端末の更新
教員の 利活用進捗目標	全教員がICT活用の必要性を理解	全教員がICT活用の基礎的スキルを習得	多くの教員が授業でICTを活用	全ての教員が授業でICTを活用	全教員が学習系クラウドを活用した児童生徒の同氏の共同学習を実践	多くの教員が、児童生徒の学習ログを基に個別最適な指導を行う	全ての教員が、児童生徒の学習ログを基に個別最適な指導を行う
児童生徒の 利活用進捗目標		学習者用端末が活用されている教室が増えている	多くの教室で学習者用端末が活用されている 家庭学習でICTが活用されている	学習系クラウドを活用した協働学習が行われている教室が増えている	多くの教室で学習系クラウドを活用した協働学習が行われている	すべての教室で学習系クラウドを活用した協働学習が行われている	学校・家庭の境無くICTを用いて協働学習に取り組み自分らしく学んでいる
ICT活用の具体	授業での大型提示装置の活用 授業でのICT端末の活用		・意見・考えの即時共有を通じた効果的な協働学習 ・最適な教材・指導案をもとにした授業改善			・児童生徒の成果物や思考過程を踏まえた学びを提供 ・地理的制約の無い交流学習	
		・家庭学習における予習復習でのGWS活用 ・家庭でClassroomで配信された課題に取り組む			・家庭での協働編集機能を活用した課題の取り組み		
					・各教科等横断的なプログラミング教育の実践		
				・保護者、市教委対応のデジタル化等業務プロセス改善による業務効率化	・校務系と学習系のデータ連携によるきめ細かい指導を実現		
利活用浸透イメージ	個別学習by端末				協働学習byクラウド 家庭学習byクラウド等		

### 3 セキュリティに関する内容についての整理

(文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠)

#### (1) 情報セキュリティ管理体制の整理 (図 13)

教育情報セキュリティ管理体制とインシデント発生時の報告フローについて整理した。  
図 13 焼津市教育情報セキュリティ管理体制



#### (2) 情報資産の分類と情報資産台帳の作成 (表 14)

学校で扱う情報資産について、文部科学省のガイドラインをもとに、再整理して情報資産台帳を作成した。

表 14 情報資産の分類と例示

重要性分類	I	II	III (校務)	III (学習)	IV
セキュリティ侵害が及ぼす影響	教職員又は児童生徒の生命・財産・プライバシー等へ重大な影響を及ぼす	学校事務及び教育活動の実施に重大な影響を及ぼす	学校事務及び教育活動の実施に軽微な影響を及ぼす	影響をほとんど及ぼさない	
情報資産の例	指導要録	緊急連絡網	校内規定・例記	出席簿	手引書
	徴収事務	職員名簿	学級日誌/学校日誌	学習活動を通して生成する学習記録	教材・教科書
		学級編成表	指導計画	確認テスト(形成的評価目的)	教育研究会
		就学支援・特別支援	各種教科指導	教材研究資料	式典
		各種証明書	補助簿		学校沿革誌
		教務調査(全国学力学習状況調査等)	授業案		関係団体規約
		学籍・転出・入学関係	研修資料		
		生徒指導・教育相談	勤務時間の割振		
		児童生徒個票	復命書・旅費関係		
		進路関係	行事関連文書		
		成績関係	教育研究会		
		服務関係	備品関係		
		健康管理・保健指導			
	休暇等承認申請				
	学力評価テスト(総合的評価目的)				
	アプリ等情報管理				

(3) 情報資産の保管や取扱いについての指定 (図 15)

セキュリティ上、必要である「情報資産の重要性分類毎による保管場所の指定」やその情報を使用してよい端末・アカウント等について明示した。

図 15 情報資産の保管取扱い

